

新型コロナウイルス感染症予防についての対応

プログラムを実施するにあたり、以下の対応をしております。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。なお、各プログラムの対応詳細につきましては、ご参加決定後に別途お知らせします。

●ご参加にあたって

▼体調管理・検温

- ・参加前に体調の確認を十分にしてお参加ください。
検温をお願いいたします。（宿泊を伴う場合は1週間前から、日帰りの場合は3日前から）
- ・咳・のどの痛み・微熱、倦怠感、味覚・嗅覚がない等の症状や少しでも体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
- ・発熱し熱が下がった日から4日以内においても参加をお控えください。また、熱が2日以上続いた場合は医療機関等に相談し、医療機関からの参加の承諾を得るようにお願いいたします。
- ・参加者本人又は同居家族が過去2週間以内に海外への渡航歴がある場合は参加をお控えください。
- ・基礎疾患や既往症がある場合は、十分に注意をしてください。
- ・プログラム中に体調が優れない場合は、保護者の方の速やかなお迎えをお願いいたします。

▼在校または在園先・同居者で陽性者が出た場合

- ・濃厚接触者が特定されるまで、プログラムへの参加を控えてください。ご協力の程、よろしくをお願いいたします。

▼スタッフを含む館内利用者で陽性者が出た場合

- ・保健所などの指示に従って対応いたします。
- ・感染者の来館頻度、滞在時間に応じて休講・休館になる場合もございます。
- ・濃厚接触の疑いのある方へはお電話にてご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでのお知らせです。感染者が特定されないように個人情報には十分留意いたします。

▼プログラム参加後

- ・数日以内に新型コロナウイルス感染症の発症もしくは可能性がある症状がありましたらY M C Aまでその旨、お知らせください。

●スタッフ・リーダーの対応

- ・スタッフやリーダーの体調管理を徹底して行います。発熱及び風邪の症状がある場合は活動に参加いたしません。スタッフやリーダーの同居者に同じ症状がある場合も同様とします。
- ・スタッフやリーダーも、感染防止のためマスク、フェイスシールドを着用します。

●プログラム実施にあたって

- ・原則マスクの着用をお願いします。ただし、プログラム中、ソーシャルディスタンスが保てる場合、野外の活動等では外す場合もございます。
- ・手洗い、手指消毒を適宜行います。また、室内プログラムの場合は定期的な換気・消毒を行います。
- ・小規模グループに保ち、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの条件が発生しないように努めます。
- ・ご家庭でも「咳エチケット」、「むやみに手で口や顔などに触れない」、「至近距離での会話はさける」など感染予防をお子様ともご確認ください。

●プログラムを中止する場合について

- ・感染拡大等による交通・宿泊機関のサービス停止、その他の社会状況によって安全な実施が不可能と判断される場合はプログラムを中止します。その場合、プログラム開始前であれば参加費の全額、プログラム開始後は未実施分をご返金いたします。なおプログラムによっては振替日を設ける場合もあります。（陽性者が出た場合などで休講・休館になった場合も同様です）

※この「新型コロナウイルス感染症予防についての対応」は状況により内容の変更・追加も想定されます。その際は、各センターよりお知らせいたします。一緒に感染予防に努めていきましょう。